GAUDETE
GAUDETE
カトリック広島司教区平和の使徒推進本部
2017-2019年度広島教区年間テーマ
チャレンジ 新しい福音宣教 わたしをお使いください
－ 教会へのチャレンジ －

希　望　に　導　か　れ　て　混　沌　の　中　を

「心の底はいつだって混沌。船は揺れながら行くのです。」つい先日、韓国で出会った神父さんが夕食後別れた後に送ってくれたメッセージです。自分にとって意味深長な言葉のように思えました。

昨年末は一年間の疲れが出たのか、体調を崩し、「神と共なる休息」と思い、体と心を休めました。振り返ってみると、凪であったことはまれで、かなり頻繁に波が打ち寄せ、船は水びだしになり、帆もいくらか引き裂かれながら、それでも沈まずに前に進んできたと思います。そして、常に支える恵みがあったのだという感謝の念が湧いてきます。

何よりも日本社会に大きな恵みであったのは、教皇フランシスコの来日、そして広島教区にとっては、広島に来て共に祈ってくださったことでしょう。とても豊かな、そして鋭いメッセージを発してくださいましたが、その奥に、わたしは、「すべてをそのままに、弱さもやさしさも受け入れてくださる神の憐れみ」を感じました。その神の癒しの手が日本に伸ばされ、私たちの船を励まし、そっと前に押し進めてくださったのだと思います。白浜司教様の手を握られ、「平和のために何かをしてください」とおっしゃったとのことでした。

広島教区は 2020 年度から社会へのチャレンジへと入っていきます。その励ましであったようにも思うのです。「主が共におられますよ」と。

フランシスコは年始の演説で、今このような希望を見いだしにくい時代のさなかにあって希望という徳を抱くことの大切さを説かれました。ご自身の敬愛する詩人ペギーの詩をよく引用されます。信仰、愛、希望という三姉妹の中で希望は一番末の妹であるけれど、その希望が、信仰と愛を前へ進めていくのだという。

船は希望とともに漕ぎ出したいと思います。私たちの平和への奉献がどんなに小さいものであっても、神はそれを無になさらず、手に受けとって、人々の幸せのために用いてくださるという希望。それは、このような世界、時代にもかかわらず、いや、苦難、混沌の中であるからこそ私たちに主が与えてくださる希望なのではないでしょうか。一人一人の、自らへの、身のまわりへの、社会への希望をわかちあいながら、混沌な世界の波のただ中へと、揺れながらも決して沈むことのない船を漕ぎ出していきましょう。

（平和の使徒推進本部アドバイザー　中井淳神父）

ボランティアアンケートの状況

お待たせいたしました。昨年皆様にご回答ご協力いただいた、ボランティアアンケートですが、ようやくまとまりましたので、まず、冊子の発行から開始したいと考えております。個人、団体合わせて五十あまりの皆様からの情報をいただきました。ご活用いただき、今後の活動の活性化につながりますように！

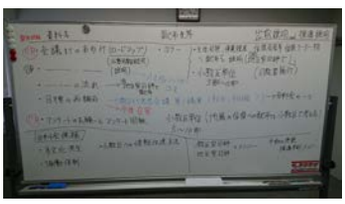
第 53 回「世界平和の日」教皇メッセージ（2020 年 1 月 1 日、抜粋）

平和は、尊い宝、わたしたちの希望の対象、全人類が切望してやまないものです。平和を望むことは実存的な緊張を伴う人間の姿勢であり、その望みがあるからこそ、現在がときに困難な状況にあっても、「わたしたちはそれを生き、受け入れることができます。そのためには、現在が目標へと導いてくれるものでなければなりません。わたしたちがこの目標を確信できなければなりません。そしてこの目標が、労苦して目指すだけの意味をもつものでなければなりません」。このように希望とは、たとえ克服できそうもない障害に直面しても、わたしたちを踏み出させ、前に進む翼を与えてくれる徳なのです。

教区代表者会議に向けての展望①

教区代表者会議（以下、代表者会議）はこれから様々な具体的な取組みに入りますが、この度の代表者会議は過去二回の代表者会議と異なった部分が大きくは 2 つあります。

一、原則として、教会法の定める規定に沿った様式に沿っていること　※全てではありません。



最初の代表者会議は、本当に手探りの状態から、取り掛かったのものでした。

今回は、教会法を基準に代議員も決められますし、今後の代表者会議の自体の進め方もそのようになるものと考えています。

また代表者会自体の進め方もについても、今後のアンケートの分析を一つの手掛かりに、今後、白浜司教様から出される分科会テーマ・提言草案を各地区、小教区で揉んでいただいたものを基に、各分科会で話し合っていただく様式になると思われます。

二、話し合う方向性や基本的な計画の枠組み（scheme）がある程度見える形であること

その一つが各小教区にお配りしている【2005 教区代表者会議（第 1 回）→ 2020 教区代表者会議（第 3 回）までのあゆみ】（以下、ロードマップ）であり、【「2020 代表者会議に向けて」（教区代表者会議とその準備について）】等です。

その他、【教区代表者会議に関するＦＡＱ】も現在準備中で、これから書き加えられていきますし、都度、資料は追加していくことも考慮中です。

※それらについては教区ホームページに展開していますのでご確認ください。

平和の使徒推進本部→宣教司牧推進事項→2020教区代表者会議「ともに喜びをもって福音を伝える教会へ」特設ページ
http://cpap.hiroshima-diocese.net/?page_id=14295

この教区代表者会議の基本的な計画の枠組みについては、次号以降に掲載します。

（文責：2020 教区代表者会議準備事務局　小松敬）

聖書写経の取り組み状況について

防府教会　聖書全巻書き写しと製本の完成

防府教会では、聖書の書き写しを宣教司牧活動の一環として取り組んできたところ、聖書全巻の書き写しが完了し、書き写した聖書を製本し、2019 年 12 月完了認定されました。

旧約聖書も聖書書き写しリレーします！

2018 年 9 月～ 2019 年 9 月まで、聖書書き写しリレー新約聖書バージョンが広島教区民の協力で完了しました。2019 年 12 月の教区宣教司牧評議会において、旧約聖書についても書き写しリレーを実施することが決定しました。基本的は横書きで言語自由としますので、小教区のご協力お願いします。